

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	利用者の重度化、終末期を迎えられた際に殆どのご家族がホームでの看取りケアを希望される。全職員が看取りケアについて、スキルアップを目指し足並みを揃えていく必要がある。	看取りケアを実践していく中で、職員の精神的な負担も少なくはない。正しい知識の習得や個人のスキルアップを図ることで、精神的な不安を軽減しつつ看取りケアを実践していく環境を整備したい。	内部での勉強会を定期的実施していく。管理者や看護師が得た情報は全職員で共有し、その都度疑問や不安に思う事はないか、職員に聞き取りを行う。外部の研修会に全職員が参加出来るよう、勤務の調整を行い広く情報を収集していく。	12ヶ月
2	35	年度内に2回の消防火災誘導訓練は実施しているが、他の災害に於ける避難誘導訓練が、現状では十分ではない。立地条件から鑑みると土砂崩れや洪水に対する避難誘導訓練の実施が必要である。	自然災害に対して建物や周辺の整備を進めていくと同時に、事業所内でも定期的に避難訓練を実施していく。	消防火災避難訓練と同時に、あるいは別日程にて土砂災害等についての避難誘導訓練を計画・実施する。近隣住民にも参加を依頼し、助言を仰ぎながら情報収集に努め、マニュアルの見直しなどの参考にする。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。